

## 第 42 回生活科学系コンソーシアム会議議事録

1. 日時 : 2025 年 3 月 28 日 (金) 10:30~11:30
2. 場所 : オンライン会議 (Zoom)
3. 出席者 (敬称略)  
構成学会 12 学会 13 名  
国際服飾学会 山村 明子 (連絡担当者)  
生活経済学会 倉田 あゆ子 (連絡担当者)  
日本衣服学会 村上 かおり (会長)  
日本家庭科教育学会 志村 結美 (連絡担当者)  
一般社団法人日本健康心理学会 田中 共子 (連絡担当者)  
日本消費者教育学会 大藪 千穂 (会長)  
公益社団法人日本食品衛生学会 石井 里枝 河野 通宣 (副会長・事務局長)  
公益社団法人日本食品科学工学会 上薗 薫 (連絡担当者)  
一般社団法人日本纖維製品消費科学会 佐藤 真理子 (連絡担当者)  
一般社団法人日本調理科学会 飯田 文子 (連絡担当者)  
一般社団法人日本保育学会 上垣内 伸子 (連絡担当者)  
服飾文化学会 伊藤 瑞香 (連絡担当者)  
生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会 委員 8 名  
阿部 栄子 大藪 千穂 小川 宣子 重川 純子  
守隨 香 杉山 久仁子 宮崎 陽子 宮野 道雄  
欠席者  
構成学会 3 学会  
一般社団法人日本家政学会 日本健康医学会 日本健康科学学会  
分科会委員 池田 彩子 佐藤 裕紀子

### 4. 配布資料

- 資料 1 出席者名簿
- 資料 2 第 41 回生活科学系コンソーシアム会議議事録 (案)
- 資料 3 第 16 回生活科学系博士課程論文発表会プログラム
- 資料 4 2024 年度活動報告 (案)
- 資料 5 2024 年度決算 (案)
- 資料 6 2025 年度活動計画 (案)
- 資料 7 2025 年度予算 (案)
- 資料 8 第 13 回シンポジウム参加者アンケート

### 5. 議題

守隨副会長司会のもと審議に先立ち、議事録は志村委員 (日本家庭科教育学会) が作成することが伝えられ、資料 1 に基づき出欠確認が行われた。

- (1) 生活科学系コンソーシアム第 41 回会議議事録 (案) の承認 (杉山会長)

杉山会長から資料2に基づき説明があり、承認された。

(2) 第16回生活科学系博士課程論文発表会について（杉山会長）

本日午後からの発表会について資料3に基づき説明があり、座長等の確認がなされた。

(3) 2024年度活動報告案及び決算案について（杉山会長・重川委員）

活動報告案について、資料4に基づき杉山会長から説明があり、一部日時の変更を行った後、総会に提出されることが確認された。

決算案について資料5に基づき、重川委員から説明があり、総会に提出されることが確認された。

(4) 2025年度活動計画案及び予算案について（杉山会長、重川委員）

活動計画案について資料6に基づき、杉山会長から説明があり、総会に提出されることが確認された。

予算案について資料7に基づき、重川委員から説明があり、総会に提出されることが確認された。

(5) 第18回生活科学系コンソーシアム総会について（杉山会長）

5月の連休明けから2週間の平日に、第18回生活科学系コンソーシアムのオンライン総会候補日が挙げられる予定であることが説明された。また、総会には各構成学会の会長と連絡担当者の両者が出席することになっているため、それぞれに日程調整のメールが送られることが確認された。

(6) 第14回生活科学系コンソーシアムシンポジウムについて（杉山会長）

今年度のシンポジウムのアンケート結果（資料8）が紹介され、その結果がよかったですや、100名以上の参加があったこと等から、来年度のシンポジウムも今年度実施した「子育てと子どもの育ちを支援する社会を実現するための課題について考える」と関連させ、繋がりがあるような内容を考えていると説明がなされた。今年度は、こども家庭庁の政策の検討に関わった大豆生田啓友先生（日本保育学会）に『はじめの100か月の育ちビジョン』を中心に解説いただき、住まい・住居の視点で定行まり子先生（日本家政学会）にご登壇いただいている。今後も、生活者の視点、もしくは生活科学的視点で生活全体を見通しながら子育てはどうあるべきか、子育てについて改善すべきことがあるとすれば私たちに何ができるか等について、各構成学会、それぞれの立場で提案をしていただきたいと説明された。また次回、5月の総会時に各構成学会から検討結果を報告してほしい旨が伝えられた。

(7) その他

特になし

## 6. 報告

(1) 構成学会から

12学会より 2025年度の学会活動の予定について報告があった。

(2) 生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会から

日本学術会議での学術会議法案に関する動向について報告された。分科会としての報告はなし。

次回会議日程： 2025年5月に開催予定。今後日程調整し、決定する。

以上